

令和4年度 地方創生推進交付金事業 効果検証シート

事業名	創業支援と一体となった公民連携によるリノベーションまちづくり推進事業
担当部局課名	商工観光部商工振興課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	<p>本事業は、新たなビジネスや雇用の創出を促し、まちの魅力を高めるため、本市の自然環境、文化、食、人、民間及び公的遊休不動産等といった今ある地域資源を活用した若者・女性創業者のチャレンジを後押しするとともに、新たな公共を担う民間主体のまちづくりを推進することにより、創業とまちづくりの好循環を生み出すことを目的としています。</p> <p>令和4年度の事業概要としては、本事業に共感し参画する（まちに関わる）新たな創業人材やまちづくり人材の発掘・育成を重点的に行うとともに、地域で新たにチャレンジする創業人材が孤立せず、より事業を始めやすく発展させやすい環境をつくることにより、創業者が次々と生まれ育つ生態系（創業とまちづくりの好循環）の構築を目指し、「キックオフシンポジウム」「きりしま女子起業ラボ」「リノベーションスクール」「エリマネ団体育成コース」「LIVE KIRISHIMA EXPO」を開催しました。さらに、これまでのセミナー参加者らが取組事例を紹介する冊子「LIVE KIRISHIMA CASE STUDY」を発行しました。</p>				
交付額	4,904,850 円	交付対象事業費	9,809,700 円		
事業始期年月	令和4年4月1日	事業終期年月	令和5年3月31日		
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標	Ⅱ 住み続けたいまち			
	関連施策	Ⅱ -④ 既存ストック活用による「小さな拠点」等の形成			

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

設定した目標値の根拠	<p>【KPI①】本事業を通じて増加した創業者数 ・遊休不動産の利活用や民間の経済活動の持続的な拡大を図るために、創業機運を高め、多様な産業の創出を促進する事業であり、本事業によって創業した人数を把握することにより、本事業の直接的な効果を計測できる。</p> <p>【KPI②】本事業を通じた創業者による新規雇用者数 ・本事業によって創業したことに伴う新規の雇用者数を把握することにより、若者の人口流出や働く場所の不足といった長期的な課題解決に資する波及効果を検証することができる。</p> <p>【KPI③】まちづくり会社等の設立件数 ・まちづくり会社等の設立は、公民連携の推進体制の構築と推進主体の自立化に必要不可欠であり、設立件数は、本事業の持続力と波及力を一定数測ることができる。</p> <p>【KPI④】まちづくり会社等によるプロジェクトの実施件数 ・まちづくり会社等によるプロジェクトの実施は、まちなかの賑わい創出やエリア価値の向上を図る上で必要不可欠であり、プロジェクト実施件数は、民間の活動量を一定数測ることができる。</p>					
	指標	達成状況	R 2 実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値
KPI①	本事業を通じて増加した創業者数	達成	4人	12人	11人	4人
KPI②	本事業を通じた創業者による新規雇用者数	未達成	4人	1人	0人	3人
KPI③	まちづくり会社等の設立件数	達成	3件	0件	2件	1件
KPI④	まちづくり会社等によるプロジェクトの実施件数	達成	1件	1件	2件	2件

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に相当程度効果があった

【凡例：選択肢】

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	<p>令和4年度の創業者数の実績は11名であり、KPI①は達成したものの、コロナ禍の影響もあり、個人事業による事業開始が多かったため、KPI②の新規雇用者数は未達成になったものとする。令和3年度、令和4年度に家守会社の設立に向けた講座「エリアマネージャー育成コース」や「リノベーションスクール」を実施しており、本講座を受けた民間による任意団体の設立や定期イベントの開催が開始され、KPI③KPI④は達成したものとする。</p> <p>KPI①の実績を踏まえて、創業支援プログラムは引き続き行っていく。また、本事業の市民への普及啓発を継続するとともに、自分も挑戦したい（＝創業したい）と思う創業人材の発掘事業を強化して行う。併せて、創業人材が孤立しないよう、创业者のノウハウ等の共有やコミュニティの醸成など、シンポジウムや報告会等を通して、一緒にまちづくり活動に取り組む市民同士のネットワークを強化する。</p> <p>これまでの実績を踏まえ、民間主導・公民連携型によるリノベーションまちづくりが持続されるよう、庁内横断組織（タスクフォース）や商工団体、金融機関等との支援策を検討することにより、伴走的な支援体制を構築する。</p>

【凡例：選択肢】

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
③	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
④	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

■リノベーションまちづくりの取組みを通じた創業者【令和4年度】

No.	時期	場所	創業者	種類	屋号	雇用者数	事業内容	参加
1	令和4年5月 開業	溝辺町	奥野 貴大	施設の活用	喫茶Ne_cura	0人	元建設会社の空き事務所を溝辺町のまちづくり団体「みぞべる」と共にリノベーションを実施。カフェスペースをオープン。	令和2年度 戦略会議2020委員
2	令和4年7月 開業	隼人町	橋口 夏樹	施設の活用	シェアハウス GOJUJ	0人	街とつながるシェアハウスとして、毎月開催する街の住民との食事会や、イベント参加など住んでいるだけでは味わえない体験ができるシェアハウス「GOJUJ」を開業	令和3年度 リノベーションスクール参加
3	令和4年8月 開業	国分中央	大西 正将	イベント等	MANABUN PROGRAMING SCHOOL	0人	IT教育の土壌がやや薄い霧島市にて小学生向けのプログラミング教育を開催するスクールを設立。「自分で楽しみを見つけ、自発的に探求する」力を育むことに重点を置く。	令和2年度 戦略会議2020委員
4	令和4年10月 開業	福山町	田中 友惟	イベント等	ゆい市	0人	錦江湾と桜島を一望できる絶景ポイント福山港にてランチイベントを開催。ゆくゆくは移住希望者の体験施設をつくり、遊休不動産の活用につなげていきたい。企業のマーケティング支援も行う。	令和3年度 きりしま女子起業ラボ参加
5	令和5年2月 開業	国分中央	橋口 夏樹	施設の活用	シェアハウス GOJUJ	0人	街とつながるシェアハウスとして、毎月開催する街の住民との食事会や、イベント参加など住んでいるだけでは味わえない体験ができるシェアハウス「GOJUJ」を開業	令和3年度 リノベーションスクール参加
6	令和4年4月 開業	福山町	高山 元気	公共施設の民間活用	合同会社Reprise	0人	鹿児島県指定重要文化財、旧田中家別邸を活用し、廃プラスチックの購入や体験ができる、街のイベント施設として事業化すべく可能性を検討中。	令和4年度 シンポジウム参加
7	令和4年4月 開業	国分	田中 紗耶香	施設の活用	美肌サロン reamel	0人	美肌サロンreamelは、ママもパパも子どもたちも、家族で気軽に通えるアットホームな脱毛、美肌フレイシャルケアサロンです。	令和4年度 きりしま女子起業ラボ参加
8	令和4年4月 開業	国分	前田 愛	施設の活用	hadaiku salon Novalis	0人	看護師が行うシミケア・肌質改善サロンNovalisの前田愛です。施術と自宅でのケアでトラブルを繰り返さないお肌へ。一緒にノーファンデを目指しましょう。	令和4年度 きりしま女子起業ラボ参加
9	令和4年12月 開業	隼人町	小原 啓輔	施設の活用	tombo coffee	0人	2022年にオープンした自家焙煎のスペシャルティコーヒー専門店。浅煎りメインのコーヒー豆は試飲ができ好みのお豆と出会える。テイクアウトドリンクもあり。	令和4年度 隼人未来研究室参加
10	令和4年4月 開業	霧島町	水野 清美	イベント等	きよさん家	0人	小商いをしながら色々な人との関わりを楽しみながら行動していきたい想いで、各種イベントにてたません(たまごせんべい)を販売。	令和4年度 きりしま女子起業ラボ参加
11	令和4年4月 開業	自宅/レンタルキッチン	湊 順子	イベント等	かたりこべや珈琲	0人	日常生活で背負っている様々な役割や責任から解放されて自分自身と対話し、次に進むためのパワーや元気を取り戻す人が増えてほしい想いで、イベントにて珈琲を提供。	令和4年度 きりしま女子起業ラボ参加